

～ヘーヤ(Heja) II



[↓開発のベース
となった Re2000]



本機、ヘーヤ II は、ハンガリーが開発し、1940年に初飛行した戦闘機です。但し、ベース機がありました。イタリアの Re2000 です。ヘーヤ I は、この機体にイタリア製ピアッジョエンジンを搭載したものでしたが、その後、ハンガリー製のマンフレッドワイスエンジン(といっても、これもフランス・グノームローヌエンジンのコピー)を装着して、ヘーヤ II となりました。エンジンが長く、また径が小さくなったため、機首が絞られて、オリジナルよりカッコイイ外観になりました。ただ、170 機程度が製造されたものの、横滑り特性が悪く、事故も起こりました。そのため、戦闘機としては安定性に欠けると判断され、もっぱら練習機として使われたようです。ハンガリーは当時、枢軸国としてドイツ軍機を多く使用していますが、この機体だけではなく、全ての機体に、水平、垂直尾翼カラフルなトリコロールを施しています。普通の暗い軍用機塗装とは異なり、明るく元気の出るような塗装も、悪くない感じがします。

【模型について】

チェコの LEGATO 製 1/72 の簡易インジェクションキットです。一部レジ
ンパーツが付いている複合素材キットです。エンジンの違うヘーヤ I と II
の一つを選択して作れるようになっているのが秀逸です。残念ながら水平
尾翼のトリコロールの色順がデカルが間違っていました(箱絵は正確なの
に(苦笑))。結局、塗装しました。(中川裕幸 2022年3月)

